取扱説明書

SANYO

コンパクト 食器洗い乾燥機
品番 DW-S23BR

1 約80℃の高温で雑菌対策
　高温すすぎボタン
2 軽い汚れはすばやく洗う
　スピーディ＆ハイスピードコース
3 食器から調理器具までセットできる
　らくらく食器カゴ
4 食器点数 約35点 5人用

このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受取りのうえ、この説明書とともに大切に保存してください。

上手に使って上手に節電

目次

この商品は、給湯・給水兼用タイプです。

安全上のご注意　必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示の欄には、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示の欄には、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

電源プラグの取り扱い

コンセントは専用で

定格15A以上の専用コンセントを単独で使って下さい。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

ほこりをふく

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よくふいてご使用ください。
火災の原因になります。

使用禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止

交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

アースは確実に取り付ける

アース線接続

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。

異常がある時は電源プラグを抜く

プラグを抜く

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に、必ず点検修理をご依頼ください。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

お手入れは運転終了後30分以降にする

30分経過後に

食器の取り出し、フィルターやヒーターカバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

火気や引火物を近付けない

火気禁止

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。
変形や火災の恐れがあります。

本体への水や衝撃は禁物

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

禁止

運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

※お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示の例

△記号は、「注意（警告）事項」を示します。
（左図の場合は、「一般注意」を示す。）

⃠記号は、「禁止事項」を示します。
（左図の場合は、「分解禁止」を示す。）

●記号は、「強制事項」を示します。
（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。）

⚠ 警告

お子様に注意する

子供だけで使わせたりしないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

お子様が中へ入らないように注意してください。また、使用後は必ずドアを閉めてください。中からドアは開きません。

運転中または、終了後30分間はヒーターカバーに触れない

運転中または運転終了後30分間は絶対にタンクやヒーターやヒーターカバーに触れないでください。やけどをする恐れがあります。

ご自分で絶対に分解や修理はしない

改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または当社指定のお客さまご相談窓口にご相談ください。

⚠ 注意

高温水や湯気に注意する

運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水や排水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。

排気口付近には近付かないでください。湯気、温風によりやけどをすることがあります。

長期間使用しない時、異常がある時は電源プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電源コードの取り扱い

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

開いたドアや本体を強く押さない

転倒によりケガをすることがあります。

入れてはいけないもの

■内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器などの軽くて小さい食器

- 洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ヒーターカバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気がしたりするので注意してください。発煙や故障の原因となります。

耐熱90℃以下の樹脂製のもの（耐熱表示のないものも含む）ほ乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの

- 変形します。

※まな板に関しては 15 まな板の場合　参照

ふきん・スポンジなど

- 食器および調理器具以外は入れないでください。
  発火、発煙の恐れがあります。

クリスタルグラス・カットグラス・強化ガラス

- クリスタルグラスは、表面が浸食され白くにごります。
- カットグラス、強化ガラスは水温変化で割れることがあります。
  ※乾燥のみでの使用は可能です。

びん・徳利などの食器・ひびの入った食器

- 口の小さいものは､中が洗えません。
- ひびが入った食器は割れる恐れがあります。

漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・木製の食器

- はがれる恐れがあります。

銀製・洋銀製食器など

- 金色にかわり､その後黒く変色します。

アルミ製の鍋や食器

- 白くなり、その後灰色に変色します。

落ちない汚れ

- 手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
  こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。

〈例〉

グラタンの
こげつき

茶わん蒸しなど
のがんこな汚れ

鍋の焼けこげ

口紅の汚れ

レモン汁をかけた
さしみの跡

お願い

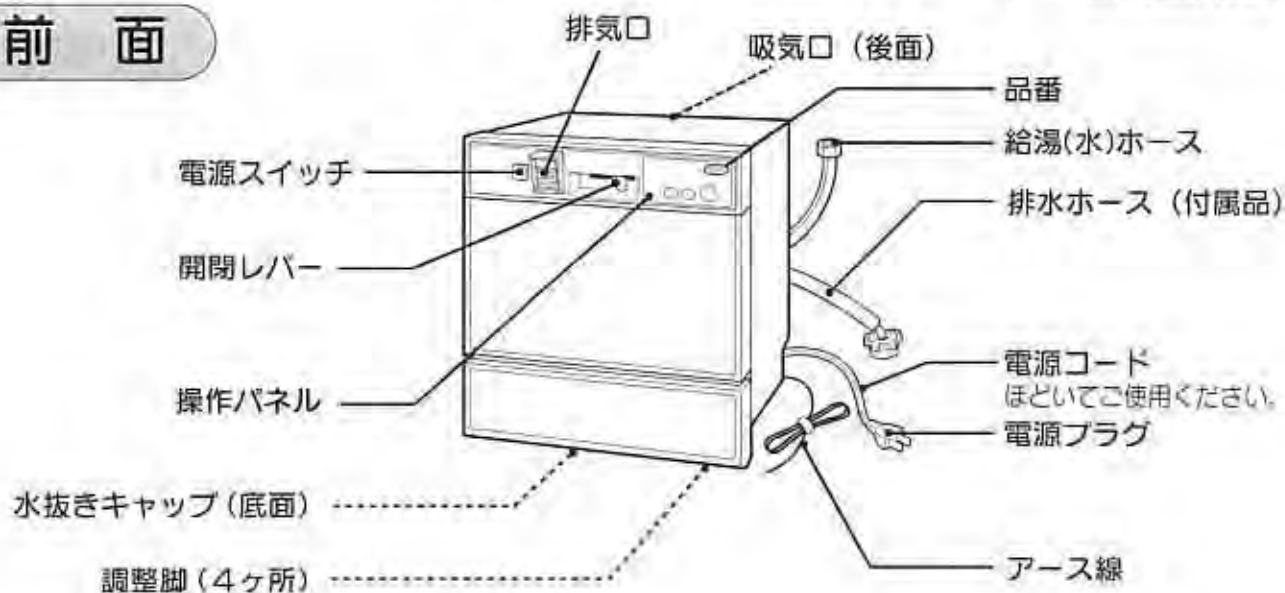
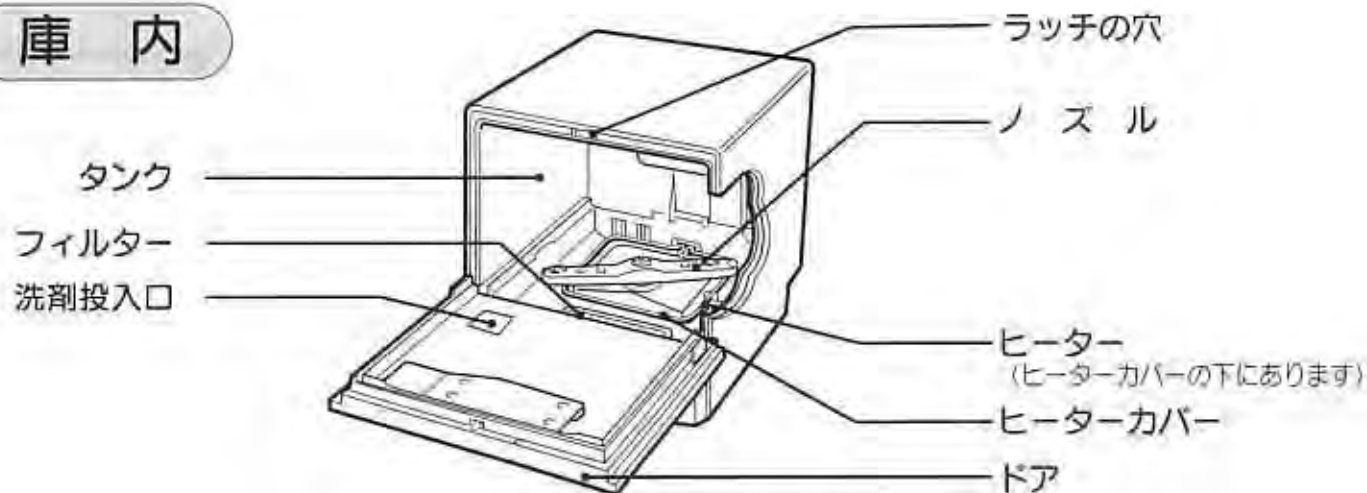
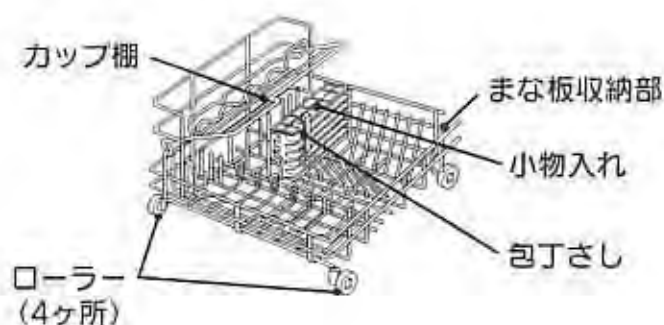
専用洗剤以外は使わないでください	60°Cより高温のお湯は使わないでください	ラッチの穴に物を入れないでください	排気口はふさがないでください
●一般の台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。 ※専用洗剤は、お近くの販売店でお買い求めください。 22 別売品　参照	●60°Cより高温のお湯が供給される湯（水）栓には接続しないでください。 マンション等集合住宅の排水管（横引枝管）が耐熱仕様でない場合は、水管側に接続してください。	●ラッチの穴には指や物を差し込まないでください。故障､事故の原因になります。	●乾燥が不十分になりますので、排気口はふさがないでください。

各部のなまえ

（------図には書かれていません。）

前　面

庫　内

カ　ゴ

ご使用の前に

操作パネル部のなまえとはたらき

電源スイッチ

押すと「入」になり、もう一度押すと「切」になります。

（オートオフ機能）

- スタートせずに放置していると10分後に「切」になります。
- 運転終了後自動的に「切」になります。
  （「カラッと仕上げ」を行わない場合は、運転終了後10分間、間欠送風運転を行った後に「切」になります。）

- 電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しています。

進行表示ランプ

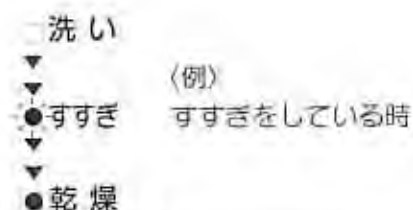
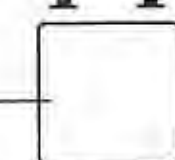
運転の経過をランプでお知らせします。

- 運転中は現在の行程が点滅し、行程終了後消灯します。

表示ランプの見かた

 消灯

 点灯

 点滅

「高温すすぎ」ボタン／「80℃すすぎ」ランプ

加熱すすぎを約80℃で行いたいときに押します。

- ボタンを押すとランプが点灯します。
  「切」にするときはもう一度押します。（ランプ消灯）
- 加熱すすぎの湯温が約70℃に到達してから乾燥終了までランプが点滅します。

7 加熱すすぎ温度の変更　参照

※「高温すすぎ」は「念入り」「標準」「スピーディ」「ハイスピード」コースで設定できます。

10 高温すすぎについて　参照

カラッと仕上げ

乾燥行程後の食器や庫内の結露を防ぐため、間欠送風運転を約60分行います。（ヒーターは入りません。）

- 乾燥行程終了後、自動的に行います。（間欠音がしますが、異常ではありません。）
- 「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。
  7 「カラッと仕上げ」の変更　参照
- 「カラッと仕上げ」中は「スタート／一時停止」ボタンは受け付けません。ドアを開けると一時停止状態となり、ドアを閉じるとスタートします。
- 「カラッと仕上げ」中に運転を止める場合は、電源スイッチを「切」にしてください。
- 「カラッと仕上げ」中にドアを10分以上開けていると、自動的に電源スイッチが「切」になります。

「スタート/一時停止」ボタン

運転を「スタート」または「一時停止」させるときに押します。

- 一時停止させた後、再びスタートさせるときは、もう一度押します。
- 運転中にドアを開けるときは、ボタンを押して一時停止状態にしてからゆっくり開けてください。再びスタートさせるときは、ドアを閉じてからもう一度ボタンを押してください。
  （ボタンを押さずにドアを開けた場合も、自動的に一時停止状態になります。）

「コース」ボタン

食器の汚れ具合、洗いかたに応じて押します。

- 「念　入　り」コース…しつこい油汚れや、食事のあと時間がたった汚れを洗うとき
- 「標　　　準」コース…食事のあとすぐ洗うとき（普通の汚れのとき）
- 「スピーディ」コース…軽い汚れを短時間で洗うとき
- 「ハイスピード」コース…軽い汚れ（パン食など）、予備洗いをした食器を洗うとき
- 「乾 燥 60 分」コース…手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

運転中、「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」を変更するときに押します。

7 「コース」の変更　参照
7 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更　参照

操作パネル部のなまえとはたらき(つづき)

◇スタート前(運転開始前)

「コース」の変更

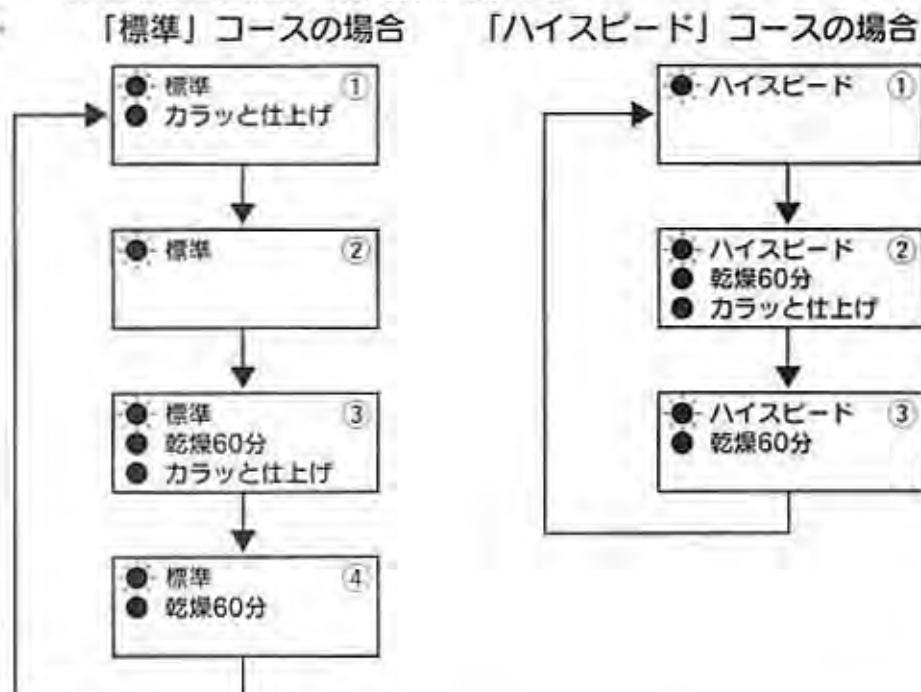
スタート前に「コース」ボタンを押すと、ランプが下記のように変わります。
ランプ点灯部、点滅部のみ表示しています。

① ● 標準 ● カラッと仕上げ
↓
② ● スピーディ ● カラッと仕上げ
↓
③ ● ハイスピード
↓
④ ● 乾燥60分 ● カラッと仕上げ
↓
⑤ ● 念入り ● カラッと仕上げ
↓
⑥ ● 標準 ● 乾燥60分 ● カラッと仕上げ
↓
⑦ ● スピーディ ● 乾燥60分 ● カラッと仕上げ
↓
⑧ ● ハイスピード ● 乾燥60分 ● カラッと仕上げ
↓
⑨ ● 念入り ● 乾燥60分 ● カラッと仕上げ
↓
(①へ戻る)

◇スタート後(運転開始後)

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更

スタート後に「コース」ボタンを押すと、ランプが下記のように変わります。
ランプ点灯部、点滅部のみ表示しています。

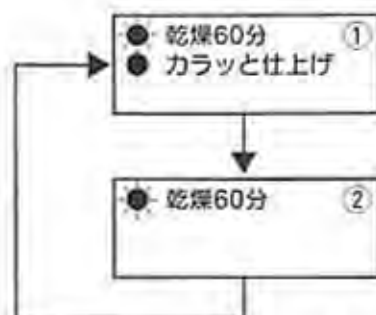
「標準」コースの場合

「ハイスピード」コースの場合

※「念入り」「スピーディ」コースの場合も「標準」コースと同様に変更できます。

表示ランプの見かた

● 点灯

● 点滅

「乾燥60分」コースの場合

加熱すすぎ温度の変更

スタート前もしくは、**スタート後**に「高温すすぎ」ボタンを押すと「80℃すすぎ」のランプが点灯します。
もう1度押すと消灯します。「高温すすぎ」ボタン「入」「切」は、加熱すすぎに入る前まで受け付けます。

加熱すすぎ ＼ コース	「高温すすぎ」ボタン	
	切(ランプ消灯)	入(ランプ点灯)
標　　準	約70℃	約80℃
スピーディ	約65℃	
ハイスピード	約40℃~60℃	
念　入　り	約70℃	

使いかた

▭ 内の数字は説明のあるページです。

運転前の準備

①アース線が接続されているか確認する。
②湯（水）栓が開いているか確認する。
③電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認する。

18 ～ **19** 据え付け　参照

※湯（水）栓を開け忘れると運転しません。但し、乾燥60分コースは除きます。
※給湯器の電源が入っていることを確認し、給湯温度60℃以下の設定にしてお使いください。
（給湯温度が低いと所要時間が長くなります。
給湯温度が70℃以上の時は、運転途中で止まることがあります。）
※給水口が付いているか確認する。
外れていた場合、給水口ナットの溝に沿わせて奥まで差し込み下向きにセットしてください。（右図参照）

食器を入れる前に

①フィルターとヒーターカバーが正しくセットされているか確認する
②食器の残菜（食べ残し）を取り除く
（ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ、輪ゴムなどは取り除いてください。
ケチャップやトマトジュースの汚れは、あらかじめ落としてください。ドアやタンク及びカゴに色うつりすることがあります。）
※入れてはいけないものや、落ちない汚れがあります。

3 入れてはいけないもの、落ちない汚れ　参照

運転後のあとしまつ

①フィルターを取り出す
（残菜を庫内に落とさないように注意してください。）
②たまった残菜を捨て、フィルターを洗う
※下部フィルターにゴミがたまった場合は取り除いてください。

17 下部フィルターのお手入れ　参照

③フィルターをもとどおり排水口部にセットする

⚠ 警告

乾燥終了直後はフィルター取手やヒーターカバー及びヒーターの表面が熱くなっています。
食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは乾燥終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

※フィルターを洗わないと目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。
※ヒーターカバーに汚れが付着した場合は取り除いてください。

17 ヒーターカバーのお手入れ　参照

※底部に残水がありますが異常ではありません。
※終了後は、給湯器の給湯温度設定をふだんお使いの温度に設定し直してください。

コースの説明

■ 内の数字は説明のあるページです。

下記のコースでは、スタート直後に約1分間の準備行程を行います。(「乾燥60分」コースはのぞきます。)
10 準備行程について　参照

標準コース　食事の後すぐ洗うとき（普通の汚れのとき）

洗い（約60℃） ➡ すすぎ2回または3回 ➡ 加熱すすぎ（約70℃） ➡ 乾燥（25分） ➡ カラッと仕上げ

※すすぎ2回目終了後の湯(水)温が約42℃以下の場合、すすぎが3回になります。

スピーディコース　軽い汚れを短時間で洗うとき

洗い（約52℃） ➡ すすぎ1回 ➡ 加熱すすぎ（約65℃） ➡ 乾燥（15分） ➡ カラッと仕上げ

※加熱すすぎの温度が低く、乾燥時間が短いため、乾燥終了後多少水滴が残る場合があります。

ハイスピードコース　軽い汚れ（パン食など）、予備洗いをした食器を洗うとき

洗いからすすぎまで約10分で行うコースです。(乾燥行程は含みません。)
※洗い行程をスタートしてから2分後の湯(水)温が約42℃以下の場合、洗い時間が約3分長くなります。

洗い（約30～50℃） ➡ すすぎ1回 ➡ 加熱すすぎ（約40～60℃）

〈乾燥行程の設定もできます。〉(乾燥60分のみ)
7 「コース」の変更 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更　参照

※油汚れ等のしつこい汚れは、残る場合がありますので、他コースの使用をおすすめします。
ただし、スポンジ等で汚れを取る、お湯にしばらくつけておく等の前処理をすればこのコースでもご利用いただけます。

念入りコース　しつこい油汚れや、食事のあと時間がたった汚れを洗うとき

洗い（約60℃） ➡ すすぎ3回 ➡ 加熱すすぎ（約70℃） ➡ 乾燥（25分） ➡ カラッと仕上げ

※「標準」コースより、洗いを約10分間長く行います。

乾燥60分コース　手洗いした食器を乾燥するとき、食器をあたためるとき

乾燥（60分） ➡ カラッと仕上げ

※最初に排水を約1分間行います。その後、乾燥行程を行います。(洗い、すすぎ行程は含みません。)

所要時間の目安 ☞内の数字は説明のあるページです。

（給湯60℃の場合）（　）内の数字は、給水接続（水温20℃）した場合の所要時間を示します。

- 下表の所要時間には、「洗い」「すすぎ」ともに、給・排水行程を含みます。
- 下表の所要時間には、「カラッと仕上げ」の時間（約60分）は含みません。
- 下表の所要時間は、給水圧0.3MPa（3kgf/cm²）室温20℃給湯温度60℃の場合の目安です。
  所要時間は、水圧・湯（水）温・室温・給湯（水）能力によって変わります。

コース	所要時間	所要時間の内訳							説明のページ
		準備	洗い	すすぎ				乾燥	
				1	2	3	加熱すすぎ		
標準	約55分（約84分）	1分	12分（20分）			※	17分（38分）	25分	11
スピーディ	約30分（約58分）	1分	7分（17分）				7分（25分）	15分	11
ハイスピード	約10分（約13分）	1分	5分（8分）				4分（4分）		11
念入り	約67分（約94分）	1分	22分（30分）				19分（38分）	25分	11
乾燥60分	約60分							60分	12

※標準コースのすすぎ2回目終了後の湯（水）温が約42℃以下の場合、すすぎの3回目を行います。

準備行程について

- 「乾燥60分」コース以外、スタート直後に準備行程を行います。
- 給湯接続の場合、庫内や給湯配管内にたまった冷たい水を排水し、洗浄開始から最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために約1分間の給・排水を行います。
- 準備行程は取り消すこともできます。給水接続の場合は取り消してご使用ください。
  12 **準備行程を取り消したい場合** 参照

高温すすぎについて

- 「乾燥60分」コース以外のすべてのコースにおいて、運転中でも加熱すすぎ行程に入るまでに「高温すすぎ」ボタンを押して「80℃すすぎ」のランプを点灯させると、加熱すすぎを約80℃で行います。
- 「高温すすぎ」を設定すると、所要時間は上表より「標準」「念入り」コースで約20分、「スピーディ」コースで約28分、「ハイスピード」コースで約31分（給湯温度60℃の場合）長くなります。

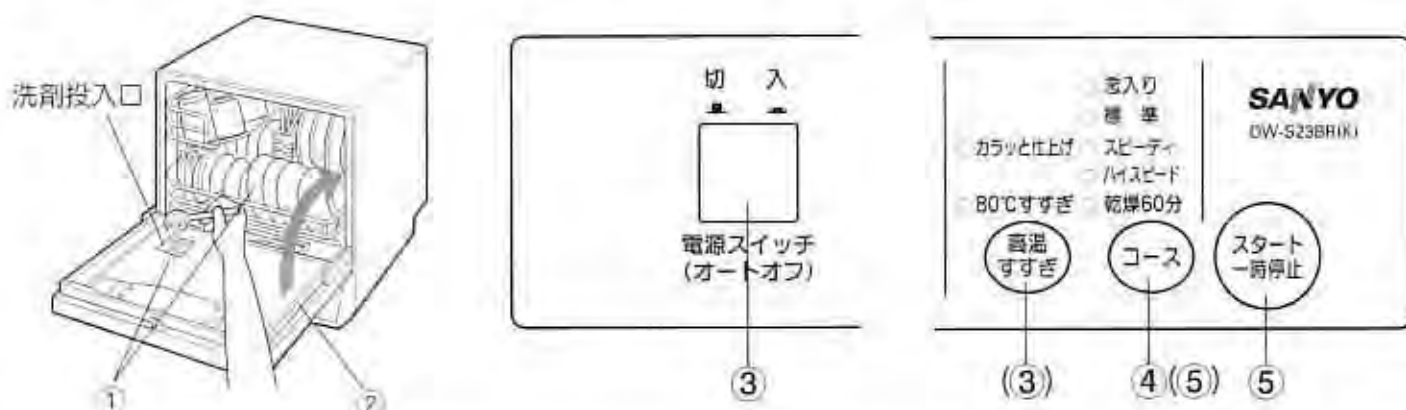
乾燥60分について

- 冬場など、食器が乾きにくい場合は、「乾燥60分」を設定してください。 7 **「乾燥60分」の変更** 参照
- 「乾燥60分」を設定すると、所要時間は上表より、「標準」「念入り」コースで約35分、「スピーディ」コースで約45分「ハイスピード」コースで約60分長くなります。

排水について

- 排水のみを行いたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」を選んで運転してください。スタート後、約1分で排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
  電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

各コースの操作手順

標　準　スピーディ　ハイスピード　念入り　コース

湯（水）栓が開いているか確認してください。

① **残菜を捨てて、食器をカゴにセットし、専用洗剤を洗剤投入口に入れる**
（洗剤は専用洗剤の付属スプーン一杯分（約5g）入れてください。
油汚れの多い場合は、洗剤を多め（一杯半～二杯）に入れてください。）
※洗剤投入口に必ず入れてください。それ以外の所へ入れると準備行程中に洗剤が流れ出てしまいます。

② **ドアを静かに閉め、開閉レバーを必ず「とじる」の位置に合わせる**
（開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。）
ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

③ **電源スイッチを「入」にする**
〈給湯接続の場合〉
・給湯器の運転スイッチを入れます。
　※運転ランプの点灯または種火がついているか確認してください。
・給湯器の給湯温度を設定します。
　※給湯温度の設定は60℃をおすすめします。給湯温度が低いと、所要時間が長くなります。
●加熱すすぎを約80℃にするときは「高温すすぎ」ボタンを押します。

④ **コースを選択する**
「コース」ボタンを押し、おこのみのコースに合わせる。 7「コース」の変更　参照

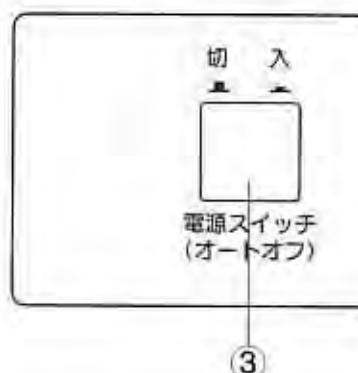
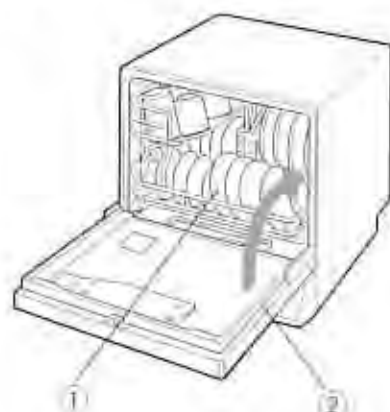
⑤ **「スタート／一時停止ボタン」を押す**
スタート後に「乾燥60分」に変更するとき、または「カラッと仕上げ」を行わないときは「コース」ボタンを押して変更します。

<「ハイスピード」コースを選択した場合の注意事項>
※「ハイスピード」コースには、乾燥行程は含まれていません。
乾燥行程の設定もできます。 7「乾燥60分」「カラッと仕上げ」の変更　参照

◉ ブザーが3回鳴ったら運転終了（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

フィルターのあとしまつをする（約30分たって庫内が冷えてから行ってください。）
8 運転後のあとしまつ　参照

乾燥60分 コース

手洗いした食器を乾燥するとき
食器をあたためるとき

① 食器をカゴにセットする（洗剤は入れないでください。）
② ドアを閉め、開閉レバーを「とじる」の位置に合わせる
（開閉レバーを「とじる」の位置にしたままドアを閉めないでください。）
③ 電源スイッチを「入」にする
④「コース」ボタンを押し、「乾燥60分」コースを選ぶ
⑤「スタート／一時停止」ボタンを押す
- 「カラッと仕上げ」を行わないときは、スタート後に「コース」ボタンを押して変更します。

●ブザーが３回鳴ったら運転終了（その後「カラッと仕上げ」に入ります。）

いろいろな運転のしかた

※ブレーカーを切ったり、停電及び電源プラグを抜くと下記の設定はすべて解除され初期状態（購入時の設定）に戻ります。

終了ブザー音を消したい場合 （電源スイッチを「切」にしても記憶しています）

- 電源スイッチを「入」の状態で「スタート/一時停止」ボタンを４秒間押し続けると、受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り、終了ブザー音が鳴らない状態になります。（スタート前及び運転中いつでも受け付けます。ただし、運転中に行うと一時停止状態になりますので、その際は「スタート/一時停止」ボタンを押し、再スタートしてください。）再び終了ブザー音を鳴る状態にするには、同じ操作を行ってください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り、終了ブザー音が鳴る状態になります。

準備行程を取り消したい場合 （電源スイッチを「切」にしても記憶しています）

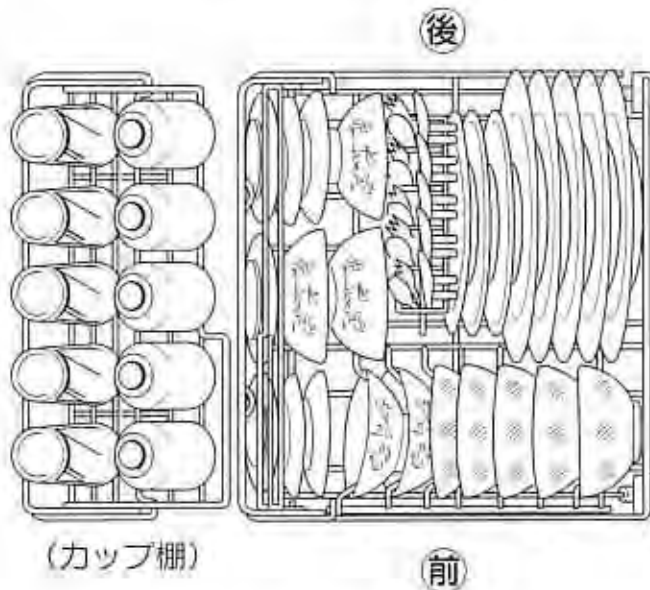
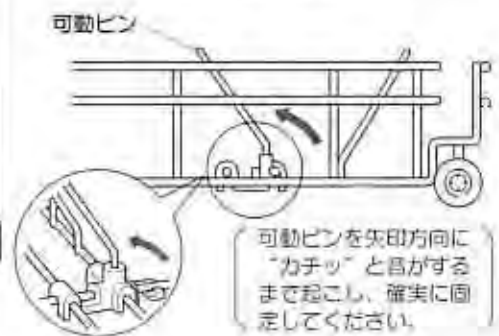
- 電源スイッチを「入」の状態で、スタート前に「コース」ボタンを４秒間押し続けると受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り「準備行程」を行わない状態になります。再び「準備行程」を行いたい場合は、同じ操作をしてください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り「準備行程」を行う状態になります。
（給湯接続の場合、準備行程を取り消すと運転時間が長くなります。）

コースの記憶について （電源スイッチを「切」にしても記憶しています）

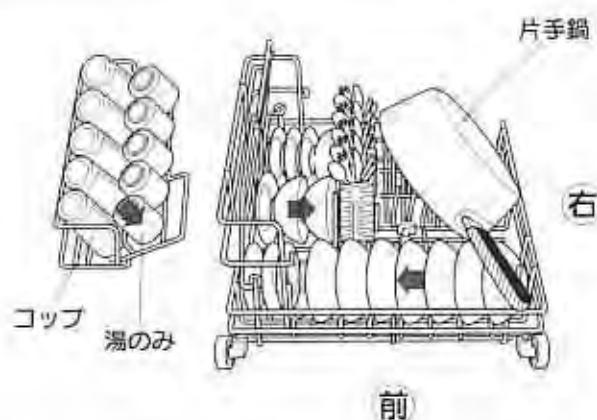
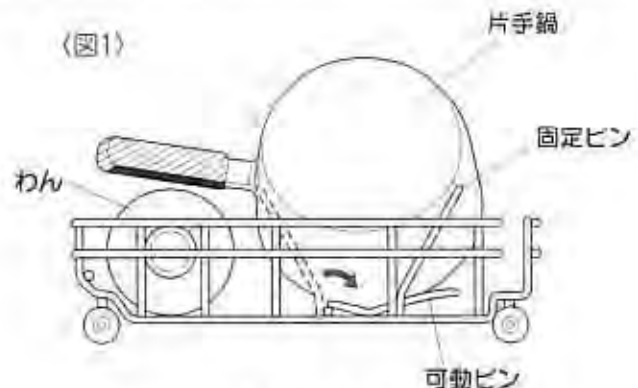
- 「念入り」「標準」「スピーディ」「ハイスピード」コースを運転すると自動的にコースを記憶します。
再び電源スイッチを入れると前回使用した運転コースが表示され「スタート／一時停止」ボタンを押すだけでワンタッチスタートができます。
「乾燥60分」コースを運転した場合は、記憶せず初期状態（購入時の設定）に戻ります。

食器の入れかた

標準的な食器のセット例

5人用のセット例

(お願い)

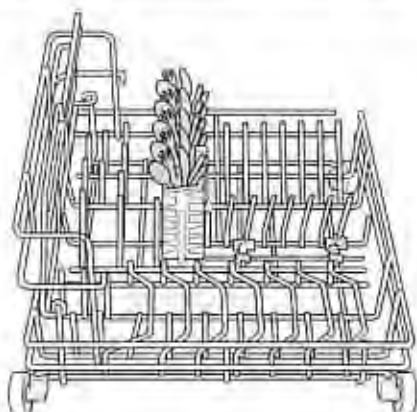
- 食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
- 食器が重ならないようにそろえて入れてください。
- 重なっている部分は、噴射水が十分にあたらないため洗えません。
- 標準的なセットの場合は、必ず大皿部の可動ピンを確実に立ててからご使用ください。

調理器具と食器をセットする場合

- 大きな鍋等をセットするときは、可動ピンを〈図1〉のように倒し、鍋等のふちを固定ピンに引っ掛けるようにしてセットしてください。

(お願い)

- 大きな鍋・ボール等は内面を下向きにし、噴射水が当たるようにセットしてください。
- 一般食器を洗う場合は、必ず可動ピンを確実に立ててから、食器のセットを行ってください。

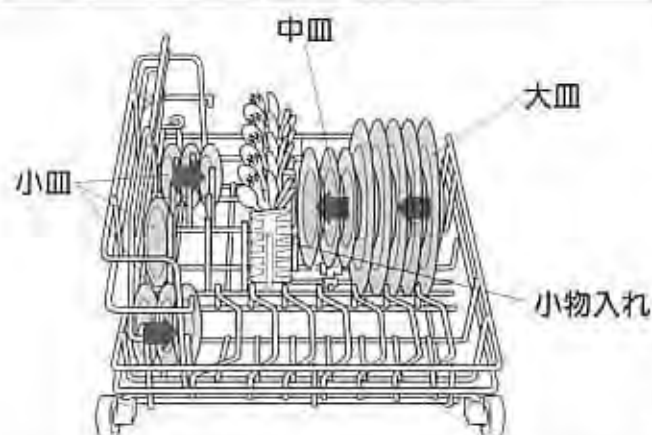
この食器カゴには5人分（35点）の食器が入ります。その他に大皿部の可動ピン方式により広いスペースがとれ、調理器具等もセットできます。

5人用食器の入れかた（食器は内面が矢印方向に向くようにセットしてください。）

1 小物を入れる

- はしは汚れている方を下に、スプーン、フォーク、ナイフは汚れている方を上にして入れます。

（お願い）

- 小物が小物入れの横から飛び出さないように注意してください。
- プラスチック製のはしやフォーク、スプーン、バターナイフ等は入れないでください。落下して、ヒーターカバーに触れると溶けたり、臭いの原因になります。

3 入れてはいけないもの　参照

2 皿を入れる

- カップ棚を上げて、その下に小皿を入れます。皿の向きをかえ、中皿、大皿の順に入れます。
  この時，皿の内側が小物入れの方を向くようにセットしてください。

（注　意）

- 洗える大皿の大きさは、直径27cm以下です。

3 わんを入れる

- 茶わん、吸物わんを入れます。

（POINT）

- この時、手前のわんは左から右へ入れると、スムーズにセットできます。

4 コップ・湯のみをのせる

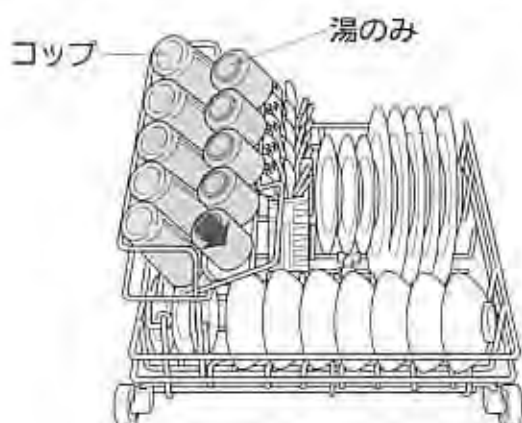
- カップ棚をおろし、コップ・湯のみをのせます。

カップ棚を横から見た図

（注　意）

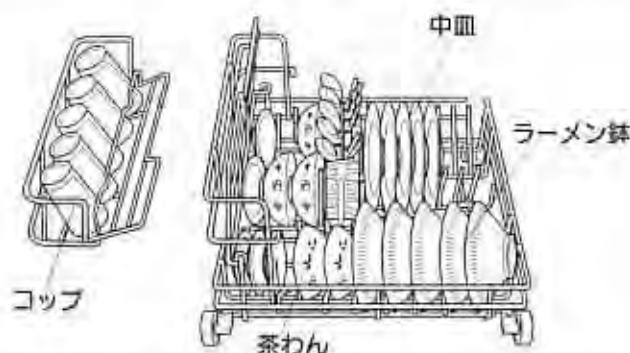
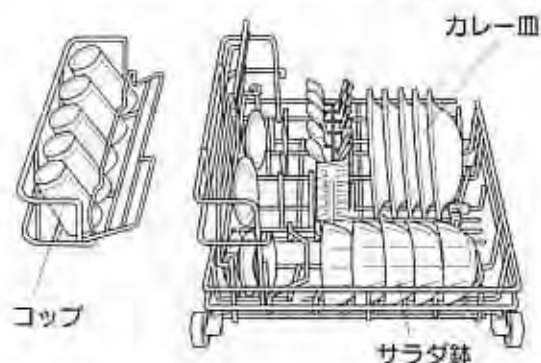
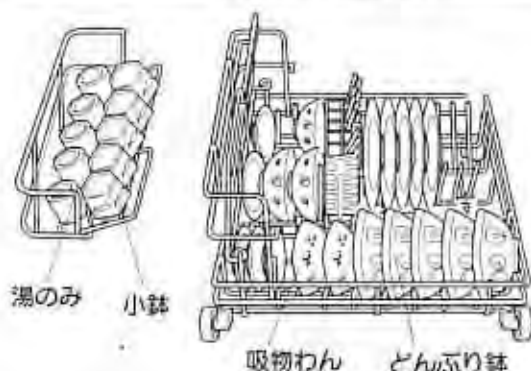
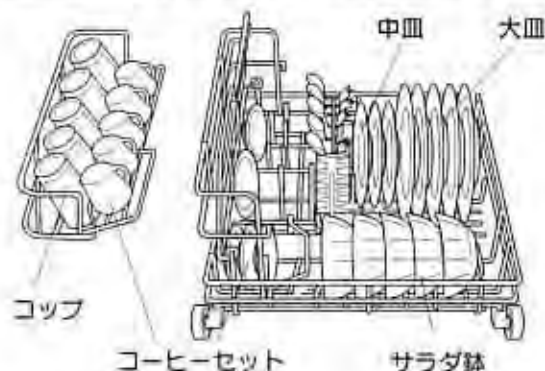
- コップは波形線の山にかぶせる様にのせてください。

（POINT）

- コップなどの背の高いものは左側に、湯のみや小鉢などの背の低いものは右側に入れると安定します。

食器の入れかた（つづき）

いろいろな食器のセット例

※食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

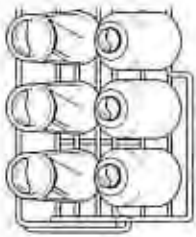
ラーメン鉢の場合

カレー皿の場合

どんぶり鉢の場合

モーニングセットの場合

まな板の場合

カゴ右端に上部を右に傾けていれてください。

- まな板は汚れのひどい側を中央に向けてください。
- まな板を入れた場合セットできる食器は33点になります。

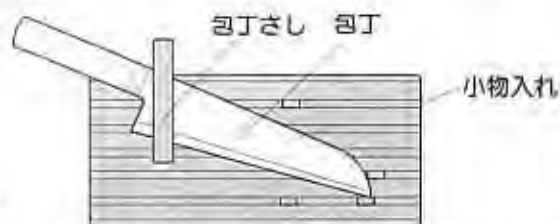
洗えるまな板の大きさ

- 厚み3cm以下、長手44cm以下、短手24cm以下

お願い

- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。
  また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなっています。取り扱いには十分注意してください。
- カゴを逆向けに入れた場合は、まな板は入りません。

包丁・お玉・さいばしの場合

全ての食器をセットしてから包丁を入れてください。

お玉・さいばしは、カップ棚の上に寝かせて置いてください。

お願い

- カゴの保護膜を傷つけるとサビの原因になります。鋭利な部分が保護膜にあたらない様にセットしてください。
- 包丁をセットするときは、ケガ防止のため刃の部分を下向きにして入れてください。
- 鉄製の包丁はさびることがありますのでさけてください。
- カゴを逆向けに入れた場合は、包丁は入りません。

仕上がりが悪いと思われる場合

食器の糸底部に水が残る場合

- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがありますが、異常ではありません。

ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合

- 水に含まれているミネラル分のためで、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め（一杯半～二杯）に入れてください。

洗えていないものがある場合

- 食器や小物が重なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからはみだして、ノズルの回転を止めていませんか。

庫内に水滴が残る場合

- 運転終了後に庫内の天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「カラッと仕上げ」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。

食器が黄色く、または薄黒くなっているとき

- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。
  ときどきは食器をこすって洗ってください。

ガラス食器類が白くくもるとき

- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、浸食が進み白くくもることがあります。
- このような場合は、「高温すすぎ」の設定をしないご使用をおすすめします。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになっていませんか。
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
- むりな入れ方をしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。
- フィルターを正しくセットしていますか。
- 洗剤を入れ忘れていませんか。
- 専用洗剤以外の洗剤を使用していませんか。
- フィルターが目づまりしていませんか。

お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーター及びヒーターカバーが高温のため、さわるとやけどをする恐れがあります。

本体のお手入れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。（塗装面やプラスチック部を傷めます。）
- 排気口にゴミがつまったときは、掃除機などで掃除してください。

ドアやタンクの内面は、やわらかい布でていねいにふいてください。

- においや庫内の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してください。（カゴは入れて運転してください。）

下部フィルターのお手入れ

再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合には、ネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまった残菜をきれいに取り除いてください。
- 異物がつまったままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、洗えない場合があります。
- 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。

※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。

ノズルのお手入れ

本機はノズルからの噴射水によって食器を洗う方法を採用しています。
水の出が悪い場合や、ノズルが回転しない場合は、つぎの手順でお手入れしてください。

①中央のネジをプラスドライバーでを左に回してはずし、ノズルを取り出します。
②ノズルの裏側から水を勢いよく入れ、水洗いして異物をきれいに落としてください。
（水洗いでどうしてもとれない場合は、つまようじ等でつまったものをとり、再び水洗いしてください。）
③取りはずした部品は、もとの位置に正しくセットしてください。
※取り付け後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。
それでも、水の出が悪い、ノズルが回らない場合は、修理を依頼してください。

ヒーターカバーのお手入れ

- ヒーターカバーにゴミがたまった場合は取り除いてください。（ただし運転終了後30分以降に行ってください。）
- ヒーターカバーのお手入れのとき、ヒーターカバーを変形させないでください。（変形させるとノズルにあたりノズルが回転しなくなる原因になります。）

長期間使用しない場合

- 最後に「スピーディ」コースで空運転を行ってください。
- 湯（水）栓は必ず閉めてください。万一の水もれを防止するためです。
- フィルター及び下部フィルターにたまった残菜をきれいに取り除いてください。
- 本体底面にある、水抜きキャップを外して、庫内の残水を抜いてください。水抜き後、必ず水抜きキャップをもとの位置に正しく取り付けてください。
- カゴから食器を取り出してください。
- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してからお使いください。（カゴは入れて運転してください。）

据え付け

- ご使用前にお確めください。
- 据え付け工事に関するものは、工事された販売店に申し出てください。

※本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。

給湯器又は水道の水圧について

- 給湯器又は水道の水圧は、0.03MPa（0.3kgf/cm²）以上、1MPa（10kgf/cm²）以下です。
  水圧が低すぎると給湯（水）に時間がかかり、運転時間が長くなります。
- 給湯器の能力により、お湯が供給されないことがあります。

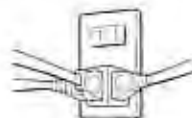
給湯の確認

- 10号以上の先止め式給湯器に接続してください。元止め式の湯沸器には絶対に接続しないでください。
- 60℃より高温のお湯が供給される湯（水）栓には接続しないでください。

電源について

⚠ 警告

- 交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。

電気工事は、電気設備基準に準じて行ってください。

排水ホースについて

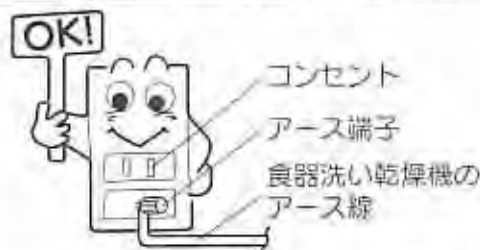
- 排水ホースが途中で折れ曲がっていないか確認してください。
  途中で折れ曲がっていると、排水できなくなります。
  ホースの接続位置を変えて、折れ曲がりのないように調整してください。

アースについて　※アース工事費は、有料です。

⚠ 警告

万一の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー（定格電流20A・感度電流30mA）の取り付けをおすすめします。（詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。）
※アースの付けはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンセント部にアース端子がある場合

アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合

※D種接地工事（第3種接地工事）が必要ですので販売店にご相談ください。
（アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています）

次のような場所にはアース線を絶対に取り付けないでください。（法令などで禁止されています。）

- ガス管・・・・・・・爆発や引火の危険があります。
- 電話線や避雷針・・・落雷のとき危険です。
- 水道管・・・・・・・途中より塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

その他

据え付け（つづき）

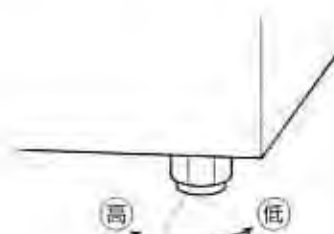
水平設置について

①「標準」コースを運転し、洗浄が始まったら「スタート／一時停止」ボタンを押しドアを開けてください。

②水面がタンク両側の屈曲線と平行になっているか確認してください。その時水面がほぼ両側の屈曲線上にあるか確認してください。

③平行になっていない場合は、電源プラグをコンセントから抜き本体を少し持ち上げ、調整脚の高さを調整し、平行にしてください。
※右に回すと低く、左に回すと高くなります。
がたつきがありますと、ドアの開閉がスムーズにいかない場合があります。

④水平確認が終わったら電源プラグをコンセントに差し込み排水してください。
10 排水について 参照

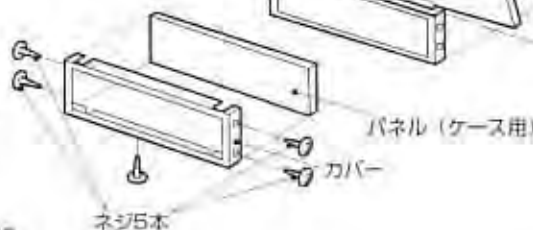
- 試運転される場合は、「ハイスピード」コースで運転すると約10分または13分で完了します。
（カゴは入れて運転してください。）

パネルの交換方法

パネルの取り付けかた

本機はパネルが取り付けられた状態で出荷しています。キッチンなどにパネルの色を合わせたい時はパネルを交換することもできます。（ただし交換パネルは別途調達部品）

1. パネル（ドア用）の交換方法
   ①ドアの横枠固定用のネジ2本をはずし、横枠を取りはずします。（左右どちらでも取りはずし可能）
   ②付属のパネルを抜き取り、新パネル（ドア用）を差し込みます。（パネル寸法 縦240mm×横439mm×厚み2.5～4mm）
   ③横枠を取り付け、はずしたネジ2本をもとどおり締め付けます。

2. パネル（ケース用）の交換方法
   ①カバー固定用のネジ5本をはずし、カバーを取りはずします。
   ②付属のパネルを抜き取り、新パネル（ケース用）をはめ込みます。（パネル寸法 縦120mm×横439mm×厚み2.5～4mm）
   ③カバーを取り付け、はずしたネジ5本をもとどおり締め付けます。

※厚みが3mm以下のパネル（ドア用）を取り付ける時は、パネルのガタつきを防ぐために厚紙等をセットしてから、パネルを差し込んでください。

こんなときは故障ではありません

状　況	理　由
電源を「入」にし、「スタート／一時停止」ボタンを押すとすぐに排水をはじめる	本機が正常に運転するようにタンクに残った水を排水する動作です。この排水動作は、以下のことが起こった後、再び運転するときに行われます。 ●停電やブレーカーの作動後 ●異常の検出や電源「切」による中断後 ●電源プラグを抜き差しした後
「乾燥60分」コース以外のコースがスタートすると、給湯（水）したあとすぐに排水をはじめる	●給湯接続の場合、庫内や給湯配管内にたまった冷たい水を排水し、洗浄開始から最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために約１分間の給・排水を行います。 ●給水接続の場合は取り消してご使用ください。 12 **準備行程を取り消したい場合** 参照
洗浄時間が長い	●給湯温度が低くありませんか？ 給湯器の電源、温度設定を確認してください。 ●準備行程を取り消していませんか？ 12 **準備行程を取り消したい場合** 参照

凍結・停電・断水したとき

凍　結	①電源スイッチを「切」にします。 ②タンク内に70°Cくらいのお湯を約３Ｌ（ヒーターがつかる程度）入れ、解凍してください。 ③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「ハイスピード」コースで運転できることを確認してください。
停　電	①電源スイッチを「切」にします。 ②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。
断　水	①電源スイッチを「切」にします。 ②断水が回復してから使用する場合は、まず他の蛇口からにごった水を流してから運転を開始してください。

異常表示

20 内の数字は説明のあるページです。

● ランプの点滅とブザーでお知らせします。(ブザーは5分間隔で16回鳴ります。)

表示部	症　状	点検・処置のしかた
「表示なし」	● 全然運転しない	● 電源プラグが確実に差し込まれていますか ● 電源スイッチを入れましたか ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか ● 停電していませんか　20 停電したとき　参照
	● 電源スイッチが「切」の状態で排水ポンプが動作している	● 修理が必要です 電源スイッチが「切」の状態であっても給湯(水)異常を検知した場合は、水もれを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 必ず湯(水)栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
「表示あり」	● 全然運転しない	● 「スタート／一時停止」ボタンを押しましたか ● ドアの開閉レバーを「とじる」の位置に合わせましたか
「進行表示ランプ」洗い・すすぎ・乾燥が点滅 洗い ▼ すすぎ ▼ 乾燥	● 水が入らない	● 湯(水)栓を開いていますか ● 湯(水)栓は開いているが、水の出が悪い時 ・水道管と本体の給湯(水)配管の間のフィルターをチェックします。 ・このフィルターは、水道管内のゴミ等を取る本体の保護用です。必ず元どおり取り付けて、接続部からの水もれがないか確認してください。 ・チェックするときは必ず湯(水)栓を閉じてから行ってください。 本体の給湯(水)ホース　給湯(水)分岐管　フィルター ● 断水していませんか　20 断水したとき　参照
「進行表示ランプ」洗いが点滅 洗い ▼ すすぎ ▼ 乾燥	● ドアを開けても水が出つづけている	● 給湯(水)が止らない場合 必ず湯(水)栓を閉じ電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
念入り・標準・スピーディ・ハイスピード・乾燥60分の5つのコースランプが点滅 念入り 標　準 スピーディ ハイスピード 乾燥60分	● 排水されない	● フィルターに残菜がたまって、目づまりしていませんか 8 運転後のあとしまつ　参照 ● 排水ホースが折れ曲がったりつまったりしていませんか
その他	● 上記以外の症状	● 修理が必要です 表示内容を確認して必ず湯(水)栓を閉じ電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

● 修理が必要な項目以外でも点検処置をして症状が改善されない場合は、必ず湯(水)栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
(この時、どのランプが点滅していたかを控え、修理依頼時にお伝えください。)

● ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

アフターサービスについて

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

（保証書について）

1 この食器洗い乾燥機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確めのうえ、大切に保存してください。

2 **食器洗い乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。**
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 **保証期間は、お買い上げの日から1年です。**
くわしくは保証書をご覧ください。

4 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

5 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご希望により有料で修理させていただきます。

（外国での保証は）

- この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

愛情点検 長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！

このような症状はありませんか

- 水もれがする。
- こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる。
- 据え付けが傾いたりグラグラしている。
- その他の異常や故障がある。

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

（転居されるとき）

- 電源周波数（Hz）の異なる地区へ転居されても50-60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の水抜きキャップを外し、残水処理を行ってください。

別売品

お求めの際は、お買い上げの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（別紙参照）へご相談ください。

専用洗剤

- 必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。

- デンプン質やタンパク質に強い酵素配合
- 茶しぶやガンコな汚れにも強い

ハイウォッシュA
N-HS80A（800g入）
（部品番号　617 238 3484）

カゴ

分け洗いをするときご利用ください。
（予備のカゴとしてお使いになると便利です）
（部品番号　617 227 1194）

仕様

仕様は、商品改良のため予告なく変更することがあります。

項目	仕様	項目	仕様
電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03～1MPa（0.3～10kgf/cm²）
周波数	50／60Hz共通	洗浄方式	マジックターン方式
定格電流	13.1／13.5A（50／60Hz）	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター　105／145W（50／60Hz） ヒーター　1200W 最大消費電力　1305／1345W（50／60Hz）	乾燥方式	強制排気乾燥方式 ヒーター間欠通電とファンによる送風
外形寸法	（幅）446mm×（奥行）511mm×（高さ）477mm	標準食器容量	食器点数　35点 まな板をセットした場合（33点）
製品質量	20kg		

電源プラグを差し込んだ状態では、電源「切」の場合でも、電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しています。

お客様メモ

機　種　名	DW-S23BR
ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	電話（　　　）　－
もよりの当社 ご相談窓口	電話（　　　）　－
MEMO	

総合相談窓口 相談受付時間　月曜日～金曜日（祭日及び当社の休日を除く）9：00～12：00，13：00～17：00

家電製品についての全般的なご相談は、もよりの下記電話番号にお問い合わせください。

◆北海道地区	☎札幌（011）290－1522	◆東北地区	☎仙台（022）714－6137
◆関東地区	☎東京（03）3815－1111	◆中部・北陸地区	☎名古屋（052）533－5245
◆近畿・四国地区	☎大阪（06）6994－9570	◆中国地区	☎広島（082）544－6036
◆九州・沖縄地区	☎福岡（092）263－7629		

郵便・FAXでご相談される場合は

東京お客さまセンター　FAX 東京（03）5803－3699　〒113－8434 東京都文京区本郷3－10－15

大阪お客さまセンター　FAX 大阪（06）6994－9510　〒570－8677 大阪府守口市京阪本通2－5－5

修理や部品に関するご相談は、お買い上げの販売店、または別紙の修理相談窓口にお問い合わせください。

三洋電機株式会社

事業開発本部　住設システム事業部
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号　電話 06(6994)6563(直通)

ホーム・アプライアンスカンパニー　電化事業部
〒520-2198　滋賀県大津市瀬田1丁目1番1号　電話 077(543)5601

84000B